

園芸市場情報

平成31年2月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407
FAX：03-5492-5407

2月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

果実類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

花きは、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回るか！

<今月の写真>

* 首都圏の量販店におけるセールスプロモーション *

首都圏MCでは、関係卸売会社や全農千葉県本部と連携の下、首都圏の量販店において青果物のセールスプロモーション活動を展開しています。

今シーズンの秋冬野菜は台風の被害も心配されましたが、生産者の努力と暖冬により一転して豊作傾向となり、11月から潤沢な入荷による単価安の傾向が続いています。

このような状況の中、1月末までの3か月間に東京都、神奈川県、埼玉県を中心に、協力店を含め154店舗（一部重複あり）において、延べ304日間「千葉県フェア」を開催しました。

2月以降も本県青果物の一層の取引拡大に向け、同規模のフェア開催を予定しておりますので、産地の皆様の御協力をお願いいたします。



首都圏の量販店において、資材・販売員等を提供し販促活動を展開しています

CONTENTS (目次)

I 青果情報	1項
1月（中旬まで）の経過	
東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格	
2月の見通し	
今月の青果物 特集「レタス類」	
II 花き（切花）情報	6項
1月（中旬まで）の経過（販売経過、品目別経過）	
2月の見通し（ストック・カーネーション）	
12月の入荷量と単価の経過 <<確定値>>	
III 千葉県内市場における園芸品の市況概況	7項
12月の青果物と花き	
IV やっちゃんば閑話	8項
「元日営業」か「元日休業」か	
V 首都圏掲示板	9項
冬もトマトを沢山食べて！10県合同試食宣伝会が開催されました	
安定出荷をPR！キャベツ3県合同試食宣伝会が開催されました	
「豊洲市場開場！千葉県フェア」を開催しました	

用語解説

園芸市場情報に使用する主な用語解説	急騰	：前日に比べ大幅に価格が上がる。（3割程度以上）	変動の幅を示す用語	平年並	：±2%以内
	強い	：前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	：±3～5%
	強保合	：前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	：±6～15%
	保合	：前日とほとんど同じ価格。		大幅	：±16%以上
	弱保合	：前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	：前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	：前日に比べ大幅に価格が下がる。（3割程度以上）			
まちまち	：産地、品種により、価格の騰落が異なること。				

I 青果情報

1 12月下旬～1月中旬までの経過

気象	<p>年末年始にかけて全国的に気温が下がり、以降は平均気温が平年並かやや高めに推移している。太平洋側は降水量が極端に少なく、空気の乾燥が続いている。</p> <p>気温は、西日本で平年より高く、甲信越、東北、北海道で平年を下回る地点が多かった。</p> <p>降水量は、全国的に少なく、関東を中心に太平洋側の広い範囲で極端に少なくなった。</p> <p>日照は、太平洋側で多い傾向で、沖縄と北陸、東北などの日本海側で平年を下回る地点があった。</p>
----	---

野菜類

入荷量	<p>東京都中央卸売市場へは、関東産、西南暖地産を中心に入荷した。</p> <p>入荷量は品目によりまちまち。果菜類の「きゅうり」「なす」「ピーマン」は、気温低下などの影響で年明けから入荷が減少し、入荷量は前年を下回った。「だいこん」「レタス類」などは、引き続き前年の入荷量を上回った。</p> <p>野菜全体では、12月下旬から1月中旬の入荷量は115,026 t（前年比101.8%）と少なかった前年並みとなった。</p>
相場	<p>価格は、多くの品目で前年を下回った。「レタス類」が前年比40.0%、「だいこん」が同32.0%、「はくさい」が同28.1%など高かった前年を大幅に下回る品目も多かった。入荷量が少なかった「きゅうり」「たまねぎ」「かぼちゃ」など一部品目は前年を上回った。</p> <p>野菜全体では、12月下旬から1月中旬の価格は254円（前年比73.7%）と高かった前年を大幅に下回った。</p>

果実類

入荷量	<p>「みかん類」「りんご類」「かんきつ類」「いちご類」を中心に上回った。</p> <p>「みかん類」は普通みかんが主体となり、裏年だった前年と違い順調な出荷が続いた。「いちご類」、特に「とちおとめ」はこれまでの前進出荷の影響から1月中旬の入荷量は少なくなった。</p> <p>果実全体では、12月下旬から1月中旬までの入荷量は39,116 t（前年比101.9%）と前年並となった。</p>
相場	<p>価格は、「みかん類」は裏年で数量の少なかった前年を大幅に下回った。「いちご類」は、1月上旬まで潤沢な入荷があったため、前年をかなり下回った。</p> <p>果実全体では、12月下旬から1月中旬までの価格は465円/kg（前年比91.3%）と前年をかなり下回った。</p>

東京都中央卸売市場における入荷量と価格

平成30年12月下旬～1月中旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	12月下旬				1月上旬				1月中旬				12月下旬～1月中旬合計			
	開市日数 本年9日・前年9日				開市日数 本年4日・前年4日				開市日数 本年7日・前年8日				開市日数 本年20日・前年21日			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	44,420	105.2	267	73.3	30,452	108.9	264	68.4	40,155	93.9	234	77.8	115,026	101.8	254	73.7
うち外国産	1,228	80.5	295	104.2	769	84.7	281	100.5	1,083	64.8	273	108.4	3,081	75.1	284	105.2
果実総量	19,512	103.3	472	95.7	7,588	112.1	516	84.6	12,015	94.4	423	87.8	39,116	101.9	465	91.3
うち外国産	1,239	102.0	236	97.2	753	93.5	243	105.9	1,162	93.6	227	98.5	3,154	96.7	234	99.8

主要品目一覧(都中央全体)

(単位:t、%、円/kg)

品目 (野菜)	12月下旬				1月上旬				1月中旬				12月下旬～1月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	4,144	111.9	61	32.6	3,248	117.0	70	31.7	3,729	107.2	64	31.6	11,121	111.7	65	32.0
にんじん	2,986	103.3	121	83.6	1,519	120.9	102	72.8	2,551	97.1	114	76.2	7,056	104.2	115	78.5
はくさい	5,286	93.7	37	30.8	3,832	102.1	41	28.3	5,026	91.4	38	25.5	14,144	95.0	38	28.1
キャベツ類	4,614	106.5	84	44.1	3,235	116.1	90	36.2	4,712	97.1	100	51.9	12,561	105.0	92	44.7
ほうれんそう	512	138.6	511	49.7	328	116.0	589	56.4	444	91.7	545	75.9	1,284	113.0	543	60.3
ねぎ	2,298	110.8	308	90.1	1,314	111.4	338	79.8	1,890	98.0	270	82.3	5,503	106.2	302	85.1
レタス類	2,785	144.1	210	31.4	2,125	150.9	247	36.2	2,232	126.5	245	61.2	7,142	139.9	232	40.0
きゅうり	1,202	85.7	788	145.7	1,411	88.9	518	120.0	1,316	84.4	439	91.7	3,929	86.4	574	119.2
なす	428	101.9	442	80.5	509	89.8	409	96.7	482	84.0	446	94.3	1,418	90.9	431	90.8
トマト	1,726	113.3	377	64.1	1,962	107.3	294	63.3	1,769	87.4	308	78.9	5,458	101.5	325	68.9
ピーマン	439	92.3	519	76.5	341	83.4	633	96.3	473	90.1	730	97.1	1,253	88.9	630	90.0
さといも	649	103.7	352	110.0	122	123.2	359	112.7	232	101.1	339	112.5	1,002	105.1	350	110.9
ばれいしょ類	2,367	95.1	118	104.5	1,629	106.4	124	106.3	2,843	90.7	118	96.2	6,839	95.6	120	101.2
たまねぎ	3,272	99.5	126	131.0	1,659	87.5	132	129.7	3,064	75.8	140	135.2	7,995	86.7	132	131.9
生しいたけ	347	111.6	1,072	79.0	230	102.9	1,116	89.2	224	91.6	1,045	95.4	800	102.9	1,077	86.5
かぼちゃ	630	71.8	226	134.5	383	93.4	198	124.9	650	70.6	217	127.1	1,663	75.3	216	129.1
さやえんどう	53	138.9	953	53.6	43	159.0	880	62.8	57	123.3	898	70.8	154	137.4	912	61.8
かんしょ	1,003	95.5	246	103.0	475	96.1	232	99.6	1,081	94.6	237	104.6	2,559	95.2	240	103.0
かぶ	529	128.0	118	53.1	304	117.2	155	57.8	408	90.3	139	66.2	1,241	110.3	134	58.8
ごぼう	422	91.2	379	114.2	126	110.8	424	112.8	203	85.0	403	120.7	751	92.1	393	116.1
こまつ菜	440	122.8	341	40.5	285	104.9	418	48.9	323	95.1	417	72.0	1,048	108.1	385	51.1
こねぎ	152	113.5	870	64.6	92	103.3	1,068	72.1	135	94.0	972	80.0	379	103.4	954	71.9
糸みつば	120	97.8	1,546	97.2	69	103.4	1,328	98.3	44	91.6	556	95.5	233	98.2	1,296	98.1
しゅんぎく	125	114.3	1,126	73.2	95	94.5	1,207	78.5	96	82.7	715	91.7	316	97.0	1,026	80.8
いら	205	105.3	881	63.5	149	97.0	1,006	70.0	221	87.8	975	92.1	576	95.8	950	75.2
セルリー	316	106.4	172	60.4	172	96.6	223	74.9	249	92.9	206	72.8	737	99.2	195	68.0
カリフラワー	184	195.1	231	47.2	75	111.3	256	68.0	108	132.4	292	91.9	367	150.8	254	63.5
ブロッコリー	1,044	177.8	380	52.7	666	142.7	381	60.9	861	121.8	442	85.7	2,571	146.0	401	65.4
サラダな	29	83.8	468	33.0	21	83.5	551	44.4	26	85.5	457	51.3	76	84.3	487	40.9
パセリ	41	129.4	1,105	38.0	14	98.7	1,057	40.1	19	100.3	907	64.7	74	114.1	1,044	43.5
チンゲンサイ	104	87.2	272	56.2	87	88.8	321	61.7	122	82.6	300	69.1	312	85.7	296	62.6
ミニトマト	664	112.6	635	67.4	690	114.6	481	68.2	586	112.6	538	74.3	1,939	113.3	551	69.5
いんげん	70	100.6	912	80.9	73	97.4	842	82.4	91	84.6	757	84.4	234	92.8	830	83.2
そらまめ	34	248.3	479	44.9	17	163.0	555	54.3	29	145.9	625	66.8	80	181.4	549	55.1
やまといも	68	89.7	588	88.1	26	116.0	600	86.5	41	83.2	570	87.8	134	91.5	585	87.9
根しょうが	132	107.0	562	102.3	53	89.6	573	105.4	71	81.4	569	101.4	256	94.9	566	102.6
マッシュルーム	55	108.1	1,056	97.3	37	101.0	917	90.2	47	92.8	954	99.3	138	100.6	985	96.4

品目 (果実)	12月下旬				1月上旬				1月中旬				12月下旬～1月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
みかん類	13,219	107.6	307	85.2	3,249	120.2	286	75.6	4,882	102.6	292	76.5	21,351	108.2	301	81.6
(早生みかん)	1,323	71.3	314	92.4	315	93.9	360	96.2	235	96.3	419	97.2	1,873	76.9	335	94.7
かんきつ類	1,022	85.6	418	94.9	1,065	136.9	324	92.6	2,297	90.5	343	92.3	4,383	97.2	356	92.2
りんご類	1,874	93.1	311	100.5	1,100	105.1	296	101.9	2,167	95.6	297	103.4	5,141	96.5	302	101.9
(ふじ)	1,535	94.2	298	99.9	908	109.8	292	101.2	1,769	96.4	287	101.5	4,212	98.2	292	100.8
いちご類	1,165	136.3	2,408	92.9	1,258	103.0	1,499	88.1	1,070	85.9	1,420	93.6	3,493	105.2	1,778	95.5
(とちおとめ)	569	124.7	2,421	93.6	635	110.6	1,341	90.1	542	87.1	1,294	94.9	1,746	105.7	1,678	96.2
(あまおう)	238	171.3	2,573	96.0	244	92.7	1,857	89.6	160	76.5	1,755	94.4	642	105.0	2,097	98.1
メロン類	263	102.8	916	85.1	65	72.6	1,189	134.6	104	72.5	1,078	130.6	431	88.4	996	102.9
(アールスメロン)	194	98.5	1,020	85.0	51	77.8	1,351	137.7	79	82.5	1,235	127.8	324	90.4	1,124	102.4
すいか類	55	159.5	287	108.8	21	104.3	270	114.0	26	236.1	257	72.7	101	155.0	276	102.1
(すいか大王)	52	164.4	281	110.1	19	94.5	255	107.8	24	224.1	251	70.9	96	152.1	268	100.8
日本なし類	15	20.2	373	96.9	5	31.6	513	119.3	20	32.9	301	80.5	40	26.6	355	92.0
ぶどう類	82	101.3	1,464	102.9	24	146.4	903	90.6	47	136.8	1,071	86.7	153	116.2	1,255	95.1
かき類	426	67.9	376	113.7	81	66.1	404	121.8	143	56.9	400	113.3	651	64.9	384	114.4

主要品目一覧(都中央千葉県産)

品目 (野菜)	12月下旬				1月上旬				1月中旬				12月下旬～1月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	1,763	109.0	56	30.6	1,319	128.4	72	32.0	1,355	108.7	62	30.4	4,437	114.0	62	31.2
にんじん	2,514	107.3	116	86.2	1,367	128.9	102	71.5	2,169	102.2	117	76.7	6,050	109.5	113	79.2
キャベツ類	1,139	108.1	85	50.8	778	133.9	91	44.7	947	92.2	102	53.2	2,863	107.6	92	50.0
ほうれんそう	69	173.7	459	48.3	43	174.8	515	58.5	59	118.7	483	76.5	171	150.0	482	60.5
ねぎ	666	113.9	333	89.4	483	122.7	350	78.3	646	103.1	286	80.1	1,795	111.9	320	83.4
レタス類	192	116.4	201	30.2	169	126.9	232	30.2	172	97.1	227	58.6	533	112.2	219	37.1
きゅうり	270	96.9	675	126.8	329	98.0	453	113.1	232	77.4	428	92.7	832	90.9	518	112.4
トマト	81	64.8	384	73.6	100	84.6	295	68.2	68	66.5	315	82.1	249	72.1	329	73.1
さといも	110	77.0	349	135.1	34	121.1	354	114.4	45	94.3	340	119.4	190	86.5	348	128.5
かんしょ	479	102.0	211	100.1	236	91.8	228	100.3	591	94.4	226	104.7	1,306	96.5	221	102.1
かぶ	448	136.3	117	52.9	268	116.3	156	57.7	350	92.4	140	65.3	1,065	113.7	135	58.3
こまつ菜	22	83.0	327	49.1	19	96.0	408	60.1	15	75.6	393	79.8	56	84.7	372	60.1
しゅんぎく	52	124.6	1,106	73.8	35	99.1	1,169	80.1	42	89.9	709	92.7	129	104.3	995	82.1
サラダな	10	68.5	402	28.5	6	69.8	460	39.8	9	70.6	393	45.4	26	69.6	412	35.6
パセリ	29	137.4	888	29.9	8	101.9	802	31.4	10	86.1	722	57.4	47	115.5	837	35.0
ミニトマト	85	209.0	565	53.1	85	182.0	487	61.3	85	225.9	443	54.9	255	204.0	498	56.2
やまといも	38	81.5	600	95.1	12	93.9	622	94.7	22	68.4	606	96.1	72	78.5	605	95.4

品目 (果実)	12月下旬				1月上旬				1月中旬				12月下旬～1月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
メロン類	4	83.1	813	78.8	3	122.7	920	165.1	3	99.4	1,082	128.2	10	97.8	930	108.5
(アールスメロン)	4	83.1	813	78.8	3	122.7	920	165.1	3	99.7	1,082	127.9	10	97.9	930	108.4
日本なし類	1	42.7	219	120.3	0	70.7	266	59.6	0	7.3	244	58.8	1	45.7	231	97.9

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。 -は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料:東京青果物情報センター速報

2 2月の見通し

野菜

関東と九州・四国の西南暖地からの入荷が中心となる。

入荷量は、年明けの気温低下・干ばつの影響で、「だいこん」「キャベツ類」等の生育が停滞しているものの、大きい量の減り込みとはならない予想。野菜全体の入荷量は少なかった前年を上回る見込み。

価格は、「きゅうり」など一部品目は前年を上回る予想だが、「はくさい」「キャベツ類」「だいこん」等を中心に多くの品目で前年を下回る予想。野菜全体では高かった前年を下回る見込み。

果実

「みかん類」「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」の出回りが中心となる。

入荷量は、「みかん類」は引き続き、裏年だった前年を上回る順調な出荷が見込まれる。「かんきつ類」も寒波の影響のあった前年より安定した出荷が見込まれる。

価格は、入荷量が多い見込みの「みかん類」「かんきつ類」では前年を下回る見込み。「りんご類」も下位等級の発生が多く前年を下回り、「みかん類」「かんきつ類」との競合も厳しくなることが予想される。

果実全体では、入荷量は前年を上回り、価格は前年を下回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (県内産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	↑↑	↘	↓↓	↘	主産地は神奈川、千葉県。年内の生育が良く、干ばつの影響は少ない。入荷量は少なかった前年を大幅に上回り、平年をやや下回る見込み。
にんじん	↗	↗	↓↓	↘↘	主産地は千葉県。本県産は作柄良く、引き続き太物中心の出荷が予想される。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、平年をやや上回る見込み。
キャベツ類	↗	⇒	↓↓	↓↓	主産地は愛知、千葉、神奈川県。干ばつで生育が鈍り、小玉傾向が予想される。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、平年並の見込み。
ほうれんそう	↗	↘	↓↓	↗	主産地は群馬、茨城県。ハウス物は生育順調。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、平年をやや下回る見込み。
ねぎ	↗	⇒	↓↓	↓↓	主産地は千葉、埼玉県。干ばつの影響で生育停滞が一部で見られる。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、平年並の見込み。
きゅうり	⇒	⇒	↗	↗	主産地は宮崎、千葉県。千葉県では樹勢の回復が遅れているが、他県はおおむね生育順調。入荷量は前年及び平年並の見込み。
なばな	↑↑	⇒	↓↓	↘↘	主産地は千葉、香川県。両県で生育は前進しており、後半入荷のペースが落ち着く予想。入荷量は少なかった前年を大幅に上回り、平年並の見込み。

増加 減少

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗, ↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上

3 今月の青果物

レタス類

主要産地のレタス類の入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	30年2月入荷量	30年2月シェア率
静岡	2,031 t	37.1 %
茨城	587 t	10.7 %
千葉	569 t	10.4 %
香川	405 t	7.4 %

2月入荷予測	6,150t(前年比112.3%、平年比95.5%)		
2月価格予測	220円(前年比60.8%、平年比79.8%)		
2月市況予測	(上旬) 保合 ⇒	(中旬) 保合 ⇒	(下旬) 弱保合 ⇨

今後の競合産地の動向は?

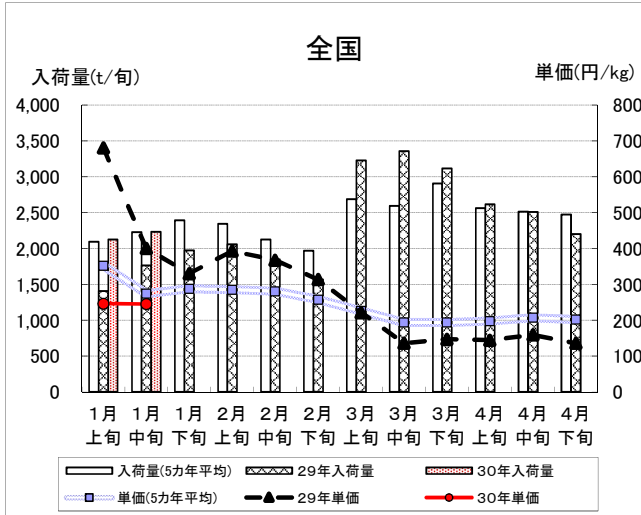
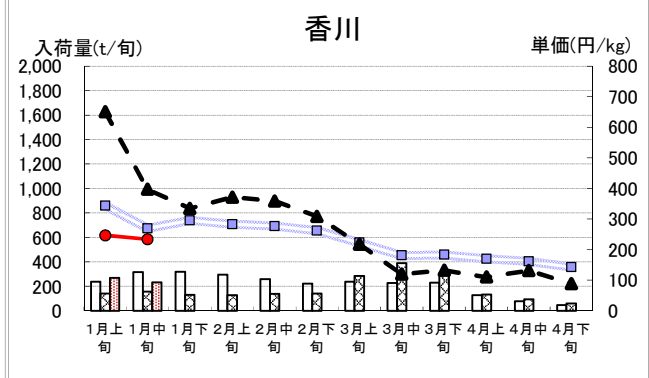
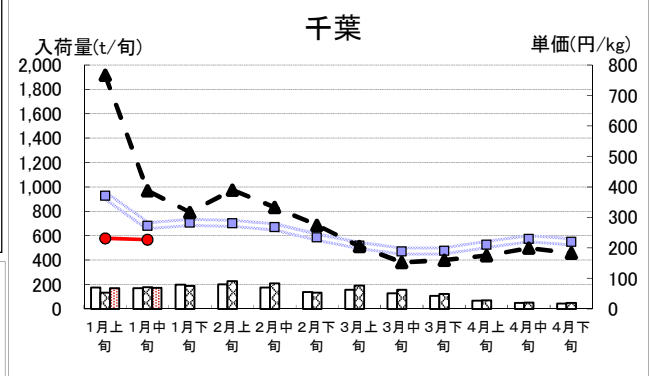
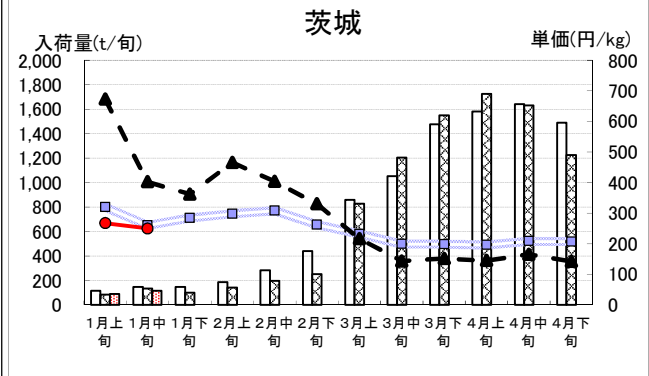
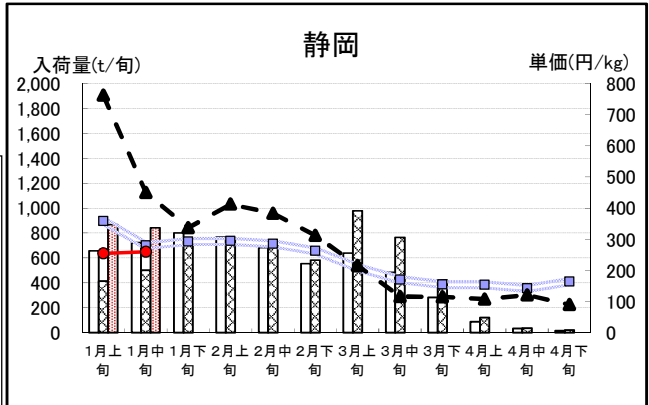
東京都中央卸売市場における冬レタスは、年内から年明けにかけては静岡県を中心に、千葉県、香川県、兵庫県や九州など各地から入荷し、3月以降は茨城県が中心の入荷となります。

本年度は、10月以降の好天により各産地とも生育が前進化し、大玉比率も高かったため、年内は入荷量が平年を大きく上回って推移し、価格は低迷しました。

年明け以降は、低温・干ばつにより生育前進にブレーキがかかり、玉肥大も抑えられ小玉傾向となっています。

2月は、各産地とも低温と干ばつで生育が鈍っていることから、入荷量は平年より少ない見込みです。また、茨城県産は当初2月上旬からの増量が見込まれていましたが、同じく低温・干ばつの影響で遅れ、下旬以降から増量する見込みです。

2月全体では、入荷量は少なかった前年を上回るものの、平年は下回る見込みです。



Ⅱ 花き(切花)情報

1月(中旬)までの経過

年末需要期は平年に比べると入荷量が少なかったが単価は平年並。年明け後も平年よりも入荷量が少ない状況が続いている。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	入荷量は生育が前進し、年末需要期である12月下旬は少なかった前年をかなり上回ったものの、平年をかなり下回った。年明け後も品薄が続き、1月上旬は平年をかなり下回り、中旬は平年を大幅に下回った。
相場	年末需要期は前年及び平年並。1月中旬にかけて例年通り単価は下落傾向であったものの、1月上旬及び中旬の相場は平年をかなり上回った。
動向	年明け後は業務需要中心の動き。

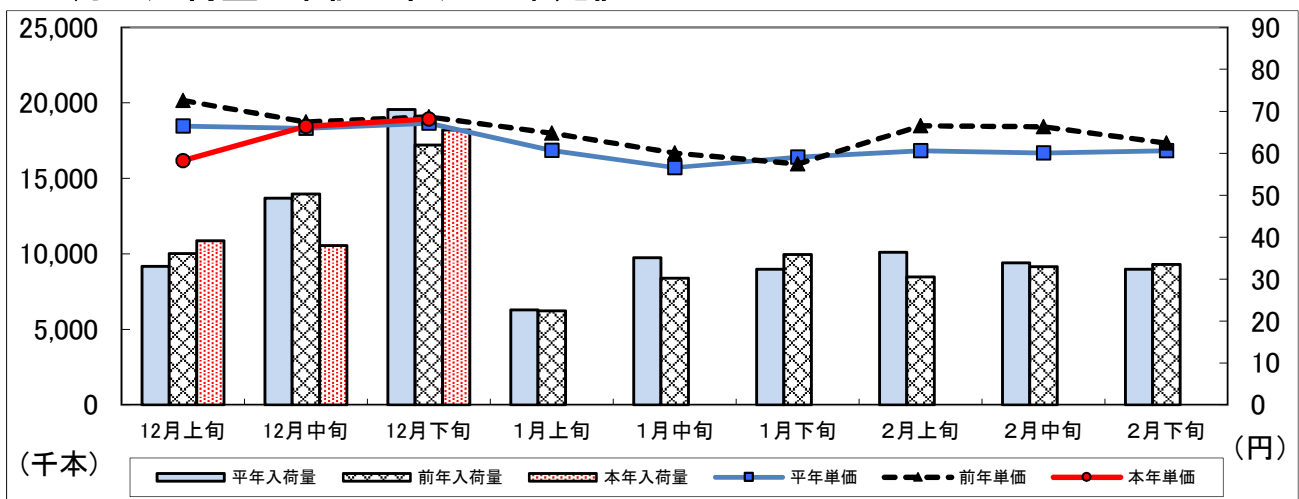
品目別経過

品目	経過
スイセン	(株)大田花き 日本水仙は千葉・福井とも大きく前進していたことが影響し、年明けから大幅に数量減少。年明けの稽古需要などには十分な数量の対応は難しい状況が続いた。
ストック	F A J 山形・福島・千葉などから入荷。前年より少ない入荷状況が続き相場は安定した。
キク(輪キク)	(株)大田花き 年末の出荷遅れ分の入荷があり、下位クラス中心の入荷となった。業務関係の動きが中心であり、小売りの動きは鈍かった。

2月の見通し

品目	見通し
ストック	(株)世田谷花き 主に千葉からの入荷。やや前進気味で下旬にむけて、入荷量は多くなる見込み。
カーネーション	(株)大田花き 国産は徐々に増加する。特にSPは上位等級が出揃う。輸入は閑散期を見込み仕入量は抑えめとなる見込み。

12月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株)大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3カ年の平均

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

青果物

単位：t、円/kg

品目	H30.12月				累計 (H30.1～H30.12月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
野菜	23,527	0.98	164	0.71	241,656	0.88	197	1.03
だいこん	2,937	0.92	45	0.33	31,020	0.88	96	1.05
にんじん	1,778	1.05	89	0.77	14,064	0.83	147	1.21
はくさい	2,674	0.94	43	0.46	19,257	0.89	86	0.99
キャベツ	3,318	0.98	66	0.50	40,422	0.84	96	1.08
ねぎ	984	0.84	251	0.84	8,385	0.80	335	1.08
トマト	716	1.15	358	0.65	10,446	0.81	367	1.05
きゅうり	445	0.86	519	1.02	8,220	0.82	332	1.13
ばれいしょ	1,381	0.95	114	1.08	14,763	0.95	110	0.71
たまねぎ	2,211	0.92	119	1.32	22,413	0.92	102	1.11
レタス	1,087	1.74	132	0.24	10,391	0.88	181	0.97
果実	6,410	1.03	356	0.95	56,648	0.89	362	1.08
みかん	3,683	1.18	254	0.83	11,232	0.90	266	1.04
かき類	327	0.58	290	1.16	2,936	0.83	262	1.12
グレープフルーツ	92	0.95	227	1.01	1,291	1.04	194	1.00
なし類	53	0.61	357	1.08	4,619	0.82	285	1.01
ぶどう類	72	1.57	519	0.62	1,504	0.90	861	1.05
いちご類	310	1.21	1,895	0.94	3,087	0.99	1,238	1.03
すいか類	3	0.88	321	1.76	4,876	0.81	221	1.08
メロン類	62	1.31	540	0.72	2,677	0.85	393	0.99
バナナ	382	0.91	159	1.03	4,895	0.82	163	1.13
りんご	693	0.85	257	1.03	6,410	0.87	310	1.14
その他	284	1.00	388	1.02	2,882	0.95	193	0.98
青果物合計	30,221	0.99	206	0.79	301,186	0.89	228	1.05

花き

単位：千本（千鉢）、円/本（鉢）

品目	H30.12月				累計 (H30.1～H30.12月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
切り花	1,772	0.38	63	0.91	25,666	0.53	62	1.03
きく	612	0.35	70	0.98	8,549	0.50	66	1.04
バラ	43	0.23	94	1.11	954	0.44	77	1.11
カーネーション	275	0.39	39	0.82	3,738	0.57	45	0.97
枝物	328	0.43	93	1.00	885	0.52	99	0.99
鉢物	96	0.73	218	1.12	1,310	0.92	139	1.00
その他	1	0.07	10,269	13.35	26	0.48	461	1.88
花き合計	2,197	0.39	79	1.02	27,887	0.54	67	1.05

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単価に満たないことを示す。

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

※平成30年4月1日から市川市地方卸売市場が民営化され調査対象外となった。

IV や っ ら や ば 閑 話

「元日営業」か「元日休業」か

「元日休業が拡大」、年末の新聞の記事にこんな見出しが出ていた。某大手ラーメンチェーンでは、約8割の店舗で大みそかの午後3時から元日を休業すると、およそ2億円の売上が減る試算である。さらに、某大手家電量販店では、全店舗で元日休業すると100億円以上の減収になるそうである。それにもかかわらず休業を選択するこの流れは、スーパーマーケットや百貨店などの他の小売業にも広がっている。これは、従業員の意欲向上であったり、サービスの質や生産性の向上が目的であるが、業界で人材不足が進む中で「働き方改革」を積極的に進め、人材を確保しなくてはならないという事情もあるようである。就職売り手市場といわれる中で、中小企業は採用に苦慮しており、また、人材の定着も同時に取り組まなくてはならない。消費者も「元日でも営業していて当たり前」から「正月ぐらい休んだら」という風潮になってきている上、ネットショッピングの利用はますます増え、「元日開いてなくても、急用でなければあまり困らない」と意識も変わってきているように思える。

人手不足の解決として、AIやロボットなどの活用に期待が高まる。最近ではレジの無人化、セルフレジを導入する店舗も増えているようである。某大手コンビニチェーンでは、完全セルフレジが試験導入され、かごの商品を精算して袋詰めまで自動に行うことができる。また、JR東日本の駅ホームで無人店舗が実証試験されたことも記憶に新しい。カメラが手に取った商品と動きを認識し、購入金額を計算する。レジでは現金のやり取りはなく、「Suica」で決済する仕組みである。海外ではさらに、モバイル決済や顔認証で決済ができ、個人を識別したサービスにまで発展している。ここまできると、その個人の関心や購買行動に合った商品までオススメできる。今のところ、店舗での省力化はレジの無人化で、棚卸しや清掃といったその他の多くの業務の無人化は実現していない。生ものを扱う食品スーパーなどでは、品質管理だけでなく、産地、品目、品種、規格など多様な項目が時期とともに切り替わっていくので、完全な無人化は想像ができない（が、いずれ技術が進歩して実現するかもしれない）。

さて、青果物に関しては、元日休業が増えれば、日持ちがするものは年内にまとめて買っておこうという消費の動きが増えると考えられる。一方で、外食や中食などの業務需要は減る。元日だけでなく、正月三が日や大晦日まで休業する企業が増えれば、消費への影響はより大きい。いずれにしても年末年始は消費が膨らむ時期だけに、今後その大きな消費がどの方向に動くか気になるところである。

(青空観測所写真部副部長代理補佐)

V 首都圏掲示板



冬もトマトを沢山食べて！

10県合同試食宣伝会が開催されました

1月10日、大田市場東京青果（株）卸売場で、トマト主産県合同の試食宣伝会が開催されました（参加県連：JA 全農ちば、JA 全農いばらき、JA 全農とちぎ、JA 静岡経済連、JA あいち経済連、JA 全農岐阜、JA 全農ふくれん、JA グループさが、JA 熊本経済連、JA 宮崎経済連）。

都心でも氷点下の冷え込みとなった当日は、「トマトの味噌汁」を提供。トマトの旨味を活かした味噌汁は来場者に好評で、開始20分ほどで完食となりました。

年間を通じたトマトの消費拡大のため、サラダなどの生食だけでなく今回のような加熱調理メニューの提案も行われています。



温かい味噌汁に人が集まります



具材はトマトと大葉



JA全農グループのポスター



安定出荷をPR！

キャベツ3県合同試食宣伝会が開催されました

1月12日、大田市場東京青果（株）卸売場で、キャベツ主産県合同の試食宣伝会が開催されました（参加県連：JA 全農ちば、JA 全農かながわ、JA あいち経済連）。

各産地の挨拶では、昨年9月末に台風被害を受けたものの、生産者が栽培管理に努めたことで作柄が回復し、現在は安定した出荷ができていることをPR。キャベツをふんだんに使用したスープを提供し、買参人にさらなる購入のお願いをしました。



参加した各産地



試食品はキャベツ鍋スープ



「豊洲市場開場！千葉県フェア」を開催しました

豊洲市場開場100日目にあたる1月19日(土)と、20日(日)に量販店6店舗(都内3店舗、県内3店舗)で「豊洲市場開場！千葉県フェア」を開催しました。どの店舗もフェアコーナーでは多くの品目が集中陳列され、千葉県の豊富な野菜をPRしました。菜花のからし和えを試食で提供し、お客様に一足早い春の味を感じていただき、「苦みをあまり感じずおいしい」、「ちょっと花が咲いていた方がきれい」との感想を言う方もいらっしゃいました。

また、フェアを行った店舗では、鮮魚コーナーにおいても千葉県フェアを開催しました。乾のり、きんめだい、たい、まさば、あじ、ホンビノス貝など、こちらも千葉県産の様々な魚介類が並び、多種多様な千葉の魅力を発信できました。



青果物は広い棚で多様な商品を販売

鮮魚コーナーものぼり、ポスターで装飾